

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

10/085125
03/01/02
10/085125
03/01/02

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application:

2001年 3月 2日

出 願 番 号
Application Number:

特願2001-057568

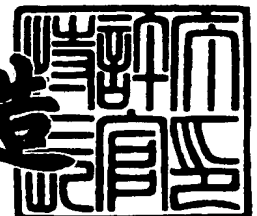
出 願 人
Applicant(s):

富士写真フイルム株式会社

2001年 9月28日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3089470

【書類名】 特許願

【整理番号】 P25950J

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 G06F 3/00
G06F 13/00
G06F 7/06

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 梅田 知昭

【特許出願人】

【識別番号】 000005201

【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

【識別番号】 100073184

【弁理士】

【氏名又は名称】 柳田 征史

【選任した代理人】

【識別番号】 100090468

【弁理士】

【氏名又は名称】 佐久間 剛

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008969

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9814441

特 2 0 0 1 - 0 5 7 5 6 8

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 データ管理方法および装置並びに記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 データを登録可能なデータ管理部に対応するアイコンを表示手段に表示し、

該アイコンへの前記データのドラッグアンドドロップ操作により、前記データ管理部に前記データを登録し、

前記アイコンを開くことにより、前記データ管理部に登録された前記データを前記表示手段に簡易出力することを特徴とするデータ管理方法。

【請求項 2】 前記データは画像データであり、前記簡易出力は前記データ管理部に登録された画像データのサムネイル画像表示であることを特徴とする請求項 1 記載のデータ管理方法。

【請求項 3】 複数の前記画像データを前記データ管理部に登録した場合、前記サムネイル画像とともに全ての前記画像データについての注文画面を前記表示手段に表示し、

前記全ての画像データの注文内容の入力を受け付け、

該全ての画像データについての注文内容を表す注文情報を生成することを特徴とする請求項 2 記載のデータ管理方法。

【請求項 4】 データを登録可能なデータ管理部と、
表示手段と、

前記データ管理部に対応するアイコンを前記表示手段に表示し、該アイコンへの前記データのドラッグアンドドロップ操作により、前記データ管理部に前記データを登録し、前記アイコンを開くことにより、前記データ管理部に登録された前記データを前記表示手段に簡易出力する制御手段とを備えたことを特徴とするデータ管理装置。

【請求項 5】 前記データは画像データであり、前記簡易出力は前記データ管理部に登録された画像データのサムネイル画像表示であることを特徴とする請求項 4 記載のデータ管理装置。

【請求項 6】 前記制御手段は、複数の前記画像データを前記データ管理

部に登録した場合、前記サムネイル画像とともに全ての前記画像データについてのプリント注文画面を前記表示手段に表示し、

前記全ての画像データの注文内容の入力を受け付け、

該全ての画像データについての注文内容を表す注文情報を生成する手段であることを特徴とする請求項 5 記載のデータ管理装置。

【請求項 7】 データを登録可能なデータ管理部に対応するアイコンを表示手段に表示する手順と、

該アイコンへの前記データのドラッグアンドドロップ操作により、前記データ管理部に前記データを登録する手順と、

前記アイコンを開くことにより、前記データ管理部に登録された前記データを前記表示手段に簡易出力する手順とをコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読取り可能な記録媒体。

【請求項 8】 前記データは画像データであり、前記簡易出力は前記データ管理部に登録された画像データのサムネイル画像表示であることを特徴とする請求項 7 記載のコンピュータ読取り可能な記録媒体。

【請求項 9】 前記プログラムは、複数の前記画像データを前記データ管理部に登録した場合、前記サムネイル画像とともに全ての前記画像データについての注文画面を前記表示手段に表示する手順と、

前記全ての画像データの注文内容の入力を受け付ける手順と、

該全ての画像データについての注文内容を表す注文情報を生成する手順とをさらに有することを特徴とする請求項 8 記載のコンピュータ読取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、画像データ、音声データ、文書ファイルデータ等のデータを管理するデータ管理方法および装置並びにデータ管理方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読取り可能な記録媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

ユーザが撮影した写真画像をデジタル化して画像サーバに蓄積したり、CD-Rに記録してユーザに提供したり、ユーザがデジタルカメラにより撮影した画像をプリントしたり、写真の焼き増し注文に応じる等、写真に関する種々のデジタルフォトサービスを行うデジタルフォトサービスシステムが知られている。また、このデジタルフォトサービスシステムの一形態として、インターネット等のネットワークを介してプリント注文等を受け付けるネットワークフォトサービスシステムも提案されている。

【0003】

このようなネットワークフォトサービスシステムにおいて、ユーザはCD-Rに記録された画像データあるいはユーザがデジタルカメラ等により取得した画像データを再生するためのビューアソフトをユーザ端末であるパソコンにインストールして画像を再生し、プリント注文を行う場合には、ビューアソフトに組み込まれた注文機能を用いて注文内容を記述した注文情報を作成する。そして、ユーザはこの注文情報およびプリントを行う画像を表す画像データを、ユーザ端末から注文受注センタに設置された注文受付サーバにインターネット等のネットワークを介して送信する。注文受付サーバは送信された画像データおよび注文情報をプリントを行うラボあるいは店頭ミニラボ等に設置されたプリントサーバに送信し、ここで注文情報に基づいて焼き増しプリント、写真入りポストカードの作成、アルバムの作成等の画像データのプリントが行われてプリント物が得られる。

【0004】

このようにして得られたプリント物は、プリント注文時にユーザが予め指定した受取店に配送される。これにより、ユーザは受取店に出向いて料金の支払いを行い、プリント物を受け取ることができる。なお、受取店は通常ユーザの家や勤務先の近所等のユーザが所望とする受取店が指定される。また、受取店はプリント物を生成した写真店であってもよい。

【0005】

ここで「注文情報」とは、具体的にはサービス内容（通常プリント、ポストカード作成等）を指定する処理番号、写真を指定する画像番号（画像データのファイル番号）、プリントサイズ、プリント枚数、プリント面質（艶あり、艶なし）、紙厚、写真処理の内容、トリミングの指定情報等のことである。また、注文を行うユーザの氏名、住所、郵便番号、電話番号等の情報も含む。

【 0 0 0 6 】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、上述したネットワークフォトサービスシステムにおいて、ビューアソフトを用いてプリント注文を行うに際し、例えば通常のプリントの注文を行う場合には、プリント注文を行う画像を選択してこれを1枚ずつ表示し、プリントサイズおよびプリント枚数等の注文内容を入力した後、注文受付サーバにアクセスして注文内容を表す注文情報および画像データを送信している。したがって、複数の画像のプリント注文を行う場合には、画像の選択、注文内容の入力および送信を繰り返す必要があり、プリント注文の操作が非常に煩雑であった。

【 0 0 0 7 】

本発明は上記事情に鑑みなされたものであり、画像データについてのプリント注文を簡易に行うことができるようにすることを第1の目的とするものである。

【 0 0 0 8 】

また、本発明は、画像データに限らず、音声データ、動画データ、文書ファイル等の種々のデータを容易に管理することができるようにすることを第2の目的とするものである。

【 0 0 0 9 】

【課題を解決するための手段】

本発明によるデータ管理方法は、データを登録可能なデータ管理部に対応するアイコンを表示手段に表示し、

該アイコンへの前記データのドラッグアンドドロップ操作により、前記データ管理部に前記データを登録し、

前記アイコンを開くことにより、前記データ管理部に登録された前記データを前記表示手段に簡易出力することを特徴とするものである。

【0010】

「データ管理部」とは、データを登録して保管することが可能なフォルダ、メディア等を意味する。

【0011】

「表示手段」とは、CRT、液晶等のモニタを意味する。

【0012】

「データ管理部に登録する」とは、データそのものの実体をデータ管理部に保管することのみならず、データ管理部にデータへのリンク先を保管することをも含む。なお、データ管理部は、例えばローカルなパソコンのハードディスクに存在するものであってもよく、パソコンとネットワークを介して接続されたサーバ等に設けられているものであってもよい。

【0013】

「簡易出力」とは、登録されたデータの出力の態様を認識可能な程度にデータを表示手段に出力することを意味する。具体的には、データが画像データの場合には、サムネイル画像表示を簡易出力として用いることができる。動画データの場合にはあるシーンをクリップした静止画像を、文書ファイル等の場合には、印刷プレビュー画像を簡易出力として用いることができる。さらに、データが音声データの場合には、そのファイル名を表示手段に表示し、ファイル名をクリックすることによる音声のさわりの部分（イントロ等）の再生を簡易出力として用いることができる。

【0014】

なお、前記データを画像データとして、前記簡易出力をサムネイル画像表示とし、複数の前記画像データを前記データ管理部に登録した場合、前記サムネイル画像とともに全ての前記画像データの注文画面を前記表示手段に表示し、

前記全ての画像データの注文内容の入力を受け付け、

該全ての画像データについての注文内容を表す注文情報を生成することが好ましい。

【0015】

本発明によるデータ管理装置は、データを登録可能なデータ管理部と、

表示手段と、

前記データ管理部に対応するアイコンを前記表示手段に表示し、該アイコンへの前記データのドラッグアンドドロップ操作により、前記データ管理部に前記データを登録し、前記アイコンを開くことにより、前記データ管理部に登録された前記データを前記表示手段に簡易出力する制御手段とを備えたことを特徴とするものである。

【0016】

なお、本発明によるデータ管理装置においては、前記データを画像データとし、前記簡易出力を前記データ管理部に登録された画像データのサムネイル画像表示としてもよい。

【0017】

なお、前記制御手段は、複数の前記画像データをデータ管理部に登録した場合、前記サムネイル画像とともに全ての前記画像データについての注文画面を前記表示手段に表示し、

前記全ての画像データの注文内容の入力を受け付け、

該全ての画像データについての注文内容を表す注文情報を生成する手段とすることが好ましい。

【0018】

なお、本発明によるデータ管理方法をコンピュータに実行させるためのプログラムとして、コンピュータ読取り可能な記録媒体に記録して提供してもよい。

【0019】

【発明の効果】

本発明によれば、データをデータ管理部に対応するアイコンにドラッグアンドドロップすることにより、データ管理部にデータが登録され、さらにアイコンを開くことにより、データが表示手段に簡易出力される。したがって、出力を所望するデータを簡易に選択することができるとともに、その出力の態様も容易に認識することができることとなる。

【0020】

とくに、データを画像データとした場合に、簡易出力をサムネイル画像表示と

することにより、複数の画像データをアイコンにドラッグアンドドロップしてアイコンを開くと、これら複数の画像データのサムネイル画像表示を簡易出力することができ、これにより、登録した画像データを容易に認識することができる。

【0021】

また、複数の画像データを登録した場合、複数の画像データについてのサムネイル画像とともに全ての画像データについてのプリント注文画面を表示して注文内容を受け付け、さらに全ての画像データについての注文情報を生成することにより、複数の画像データの注文を行う場合にも、画像の選択および注文を繰り返す必要がなくなり、これにより、複数の画像データのプリント注文を簡易な操作によって行うことができる。

【0022】

【発明の実施の形態】

以下図面を参照して本発明の実施形態について説明する。

【0023】

図1は本発明の実施形態によるデータ管理装置を適用した画像データのプリント注文を行うプリント注文システムの構成を示す概略ブロック図である。図1に示すように、本実施形態によるプリント注文システムは、ユーザ1、受注センタ2および店頭ミニラボ（写真店）3との間でデータやプリントのやりとりを行うものである。なお、実際には複数のユーザ1および写真店3が受注センタ2と接続されているが、本実施形態においては便宜上1つのユーザ端末10および1つの写真店3のみを用いて説明する。

【0024】

ユーザ1は、モニタ11、キーボードとマウスとからなる入力手段12およびハードディスク13等を備えたパソコンをユーザ端末10として有しており、インターネットや専用線等のネットワーク4を介してプリント受注センタ2に対してプリント注文を行うことが可能である。なお、パソコンを持たない場合には、ユーザ1は、サービス拠点等に設置された注文処理端末をユーザ端末10として使用する。

【0025】

なお、ユーザ1には、画像の表示、注文情報Cの生成および送信を行う機能を有するビューアソフトが記録されたCD-Rが前もって渡されており、ユーザ1は、渡されたCD-Rをユーザ端末10に設けられたCD-ROMドライブ（不図示）にセットし、CD-Rに記録されたビューアソフトをユーザ端末10にインストールする。これにより、ユーザ1はビューアソフトを用いて、画像データSの閲覧、加工、画像データSについての注文内容を表す注文情報Cの作成、およびプリント注文を行うことができる。なお、プリント注文時には、ビューアソフトによりユーザ端末10が受注センタ2にアクセスし、注文情報Cおよびプリントを依頼する画像データSを受注センタ2に送信する。

【0026】

受注センタ2は、プリント注文を受け付けるための注文受付サーバ21を備える。注文受付サーバ21は、常時ネットワーク4と接続され、ユーザ端末10から送信された画像データSおよび注文情報Cを受信し、注文情報Cに基づいてプリントを行う写真店3を選択し、選択された写真店3に画像データSおよび注文情報Cを転送する。なお、上述したCD-Rに、特定の写真店3に注文情報Cを送信するための情報（例えば、店舗コード、ラボコード、DP袋番号、チェーンコード（写真店3がチェーン店である場合のチェーン店を表すコード））を記録しておき、ビューアソフトのインストール時に、この情報をビューアソフトに組み込んで、ユーザ端末10からの注文情報Cの送信時に自動的に特定の写真店3に注文情報Cを送信するようにしてもよい。

【0027】

写真店3は、ネットワーク4を介して受注センタ2の注文受付サーバ21から転送された画像データSに基づいてプリントPを得るデジタルミニラボ31と、デジタルミニラボ31の制御を行うコントローラ32とを備える。

【0028】

デジタルミニラボ31は、画像データSに基づいてプリントPを得るプリンタ31A、ネガのスキャンを行うスキャナ31Bおよび画像データSに対して画像処理を施す画像処理装置31Cからなる。なお、デジタルミニラボ31は、画像データSをCD-R等のメディアに書き込む機能をも有する。

【0029】

コントローラ32は、コンピュータおよびプリンタを有し、デジタルミニラボ31の状態管理および制御を行うものであり、写真店3のオペレータにより操作される。なお、コントローラ32においては、注文情報Cに基づいて、プリントの価格、ユーザ名、プリント内容、注文情報C毎に付与される受注ID等がプリントされた用紙KPがプリント出力される。そしてこの用紙KPをプリントPを入れるDP袋に貼付することにより、プリントPの仕分け、ユーザ1への代金の請求を容易に行うことができる。

【0030】

次いで、本実施形態の動作について説明する。図2は本実施形態において行われる処理を示すフローチャートである。なお、本実施形態においては、ユーザ1は、CD-Rに記録された複数の画像データから所望とする画像データSを選択することによる通常プリント（すなわちデジタルミニラボ31のプリンタ31Aを用いてのプリント）、および画像データとテンプレートを表すテンプレートデータとを予め合成することにより得られた合成画像データGを選択することによるポストカードプリントの注文を行うものとする。また、ユーザ端末10にはビューアソフトがインストールされているものとする。

【0031】

まず、ユーザ1は、ビューアソフトを起動し（ステップS1）、さらに複数の画像データが記録されたCD-Rをユーザ端末10のCD-Rドライブにセットし、ビューアソフトを用いて一覧表示の指示を行うことにより、CD-Rに記録された画像データのサムネイル画像の一覧がユーザ端末10のモニタ11に表示される（ステップS2）。

【0032】

図3はモニタ11に表示される一覧表示画面60を示す図である。図3に示すように、この一覧表示画面60には、上記CD-Rに記録された画像データについてのサムネイル画像TSが表示され、サムネイル画像TSの下方にはスライドショーを行うためのスライドショーボタン14A、ポストカードを作成するための画面を表示する画像加工ボタン14B、バラエティー印刷を行うための画面を

表示するバラエティー印刷ボタン14C、E-mailに画像を添付して送信するためのE-mailボタン14D、およびインデックスプリントを作成するための画面を表示するインデックスプリントボタン14Eが表示される。一方、サムネイル画像TSの左側には、表示する対象フィルムを変更するための選択アイコン15A、お気に入りの画像データを登録するためのお気に入りアイコン15B、テンプレートとユーザ画像との合成画像のサムネイル画像を表示するための作品集アイコン15C、後述するように選択中のサムネイル画像の枚数を表示する枚数表示アイコン15D、画像データを削除するためのゴミ箱アイコン15E、FD等に画像データをコピーするためのコピーアイコン15Fおよびプリント注文する画像データSを登録するための注文ボックスアイコン16が表示される。ここで、CD-Rには画像を読取ったフィルム毎に画像データがディレクトリに分割されて記録されている。対象フィルムとは、表示しようとする画像データが記録されたディレクトリに対応するフィルムを意味する。

【0033】

なお、図3には9つの画像データ(S1～S9とする)に対応する9枚のサムネイル画像TSが表示されているが、スクロールボタン17を用いて一覧表示画面をスクロールすることにより、それ以上のサムネイル画像TSを表示することができる。

【0034】

ここで、作品集アイコン15Cをクリックすると、予め作成された、画像データSとテンプレートデータとの合成画像データGのサムネイル画像が表示される。図4は合成画像のサムネイル画像の一覧表示画面を示す図である。この一覧表示画面61には、合成画像のサムネイル画像GTSと、上記一覧表示画面60と同様のスライドショーボタン14A、画像加工ボタン14B、バラエティー印刷ボタン14C、E-mailボタン14D、インデックスプリントボタン14E、選択アイコン15A、お気に入りアイコン15B、作品集アイコン15C、選択中の画像の枚数を表示する枚数表示アイコン15D、ゴミ箱アイコン15E、コピーアイコン15Fおよび注文ボックスアイコン16が表示される。

【0035】

そして、選択アイコン15Aおよび作品集アイコン15Cをクリックすることにより、図3および図4に示す一覧表示画面60、61を切り替えることが可能である。

【0036】

ユーザ1はモニタ11の一覧表示画面60に表示されたサムネイル画像TSからプリント注文を行うサムネイル画像を注文ボックスアイコン16にドラッグアンドドロップすることにより、注文ボックスアイコン16にプリント注文を行う画像データSを登録する（ステップS3）。この際、サムネイル画像TSを1枚ずつドラッグアンドドロップしてもよいが、複数枚のサムネイル画像を選択してこれらを同時にドラッグアンドドロップしてもよい。この場合、選択したサムネイル画像の枚数が枚数表示アイコン15Dに表示される。

【0037】

ここで、ポストカードの注文を行う場合には、図4に示す一覧表示画面61のサムネイル画像GTSを注文ボックスアイコン16にドラッグアンドドロップすればよい。

【0038】

なお、この一覧表示画面60、61においては、プリントの注文内容を確定するものではないため、ユーザ1がプリント注文を行おうかどうか迷っているような画像、同一のシーンについての複数の画像が撮影されており、どの画像にしようか迷っているような画像等を取りあえず注文ボックスアイコン16に登録し、後でゆっくりと画像を選択するようにしてもよい。

【0039】

注文ボックスアイコン16は、ユーザ端末10のハードディスク13に作成された注文ボックスフォルダ18とリンクされており、注文ボックスアイコン16にドラッグアンドドロップされたサムネイル画像TSに対応する画像データSが、CD-Rから読み出されて注文ボックスフォルダ18に保管される。一方、登録された画像が合成画像である場合には、注文ボックスアイコン16に合成画像データGが保管される。なお、注文ボックスアイコン16は、登録されたサムネイル画像TSに対応する画像データSあるいはサムネイル画像GTSに対応する

合成画像データGのリンク情報のみを保管するものであってもよい。この場合、注文ボックスフォルダ18には、画像データSあるいは合成画像データGそのものは保管されず、登録された画像データSあるいは合成画像データGの保管先を表すリンク情報のみが保管されることとなる。

【0040】

そして、注文ボックスアイコン16をクリックすることにより、注文ボックスアイコン16が開かれたか否かが判断され（ステップS4）、ステップS4が否定された場合には、ユーザによるプリント注文を行う画像データSの登録が未了であるとしてさらなるサムネイル画像TSの登録を受け付けるべくステップS3に戻る。ステップS4が肯定された場合には、登録された画像データSについてのプリント内容を設定するための設定画面が表示される（ステップS5）。なお、本実施形態においては、一覧表示画面60において3枚の画像データS2、S4、S9が選択されたものとする。

【0041】

図5は通常プリント用の設定画面を示す図である。図5に示すようにこの設定画面62は、通常プリントの設定画面であり、図3に示す一覧表示画面60において選択された複数の画像データS2、S4、S9のサムネイル画像TS、プリントサイズおよび枚数の入力フィールド41、注文枚数をプリントサイズ毎に表示する注文枚数表示フィールド42、ユーザ情報を表示するユーザ情報表示フィールド43、注文する画像データをキャンセルするための削除ボタン44、注文する画像データSの総容量を書込み容量として表示する書込み容量表示フィールド45、通常プリントの注文を行う画面を表示する通常プリントタブ46、ポストカードプリントの注文を行う画面を表示するポストカードタブ47、メディアで注文を行うためのメディアで注文ボタン48、インターネットで注文を行うためのインターネットで注文ボタン49および一覧表示画面60に戻るためのキャンセルボタン50が表示されている。なお、設定画面62においては、注文ボックスアイコン16への登録が後の画像ほどサムネイル画像TSの上部に表示される。

【0042】

一方、図6はポストカード作成用の設定画面を示す図である。図6に示すようにこの設定画面63には、図4に示す一覧表示画面61において選択された3枚の合成画像データ（G1，G2，G3とする）のサムネイル画像GTS、サムネイル画像GTSから選択した合成画像を拡大して表示する拡大表示フィールド51、はがきの種類および注文枚数の入力フィールド52、ユーザ情報表示フィールド43、削除ボタン44、書き込み容量表示フィールド45、通常プリントタブ46、ポストカードタブ47、メディアで注文ボタン48、インターネットで注文ボタン49および一覧表示画面61に戻るためのキャンセルボタン50が表示されている。

【0043】

なお、設定画面62，63においては、通常プリントタブ46およびポストカードタブ47のクリックにより、図5に示す通常プリントの設定画面62および図6に示すポストカードプリントの設定画面63の表示を切り替え可能であるが、一覧表示画面60，61において注文ボックスアイコン16に最後に登録を行った画像に応じて設定画面62，63のいずれが表示されるかが決定される。したがって、最後に登録した画像が一覧表示画面60における通常プリント用の画像データSであった場合には、図5に示す設定画面62が先に表示され、最後に登録した画像が一覧表示画面61におけるポストカードプリント用の合成画像データGであった場合には、図6に示す設定画面63が先に表示される。

【0044】

ユーザ1は、図5および図6に示す設定画面62，63において、プリント注文内容の設定を行う（ステップS6）。このプリント注文内容の設定は、通常プリントの場合には設定画面62のサムネイル画像TSをクリックし、入力フィールド41においてプリントサイズおよび枚数を入力することにより行う。ここで、プリントサイズの入力フィールドはプルダウンメニューとされており、これにより容易にプリントサイズを入力することができる。なお、プリントサイズの入力により、サムネイル画像TSの縦横比をプリントサイズに合わせて変更することが好ましい。一方、プリント注文内容の設定を行わない場合には、画像を選択して削除ボタン44をクリックすることにより、サムネイル画像TSから選択し

た画像が削除される。なお、この場合注文ボックスアイコン16に登録された画像データSも同時に削除される。

【0045】

これにより、注文枚数表示フィールド42には各プリントサイズに対応した注文枚数が表示され、書込み容量フィールド45にはプリント注文を行う画像データSの総容量が表示される。

【0046】

なお、ユーザ情報表示フィールド43には、ユーザ1の名前、住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレス等のユーザ情報が表示されるが、初期状態では何ら表示されないため、ユーザ情報を入力する必要がある。なお、ユーザ情報表示フィールド43の変更ボタン43Aをクリックすることにより、ユーザ情報を変更することができる。

【0047】

また、キャンセルボタン50をクリックすることにより、一覧表示画面60、61に戻って、注文ボックスアイコン16への画像データSの登録をやり直すこともできる。

【0048】

プリント注文を行う画像データSについてのプリントサイズおよび枚数の入力完了すると、ユーザ1はメディアを用いてあるいはインターネットを用いてプリントの注文を行う。ここで、メディアで注文ボタン48がクリックされた場合にはステップS7が肯定され、図7に示すドライブ設定画面64が表示される（ステップS8）。ドライブ設定画面64には、データ番号（No.）、ファイル名、プリントサイズ、枚数およびファイルサイズを表示するためのデータ表示フィールド54、メディアMが挿入されたドライブを選択するためのドライブ選択フィールド55、追加書込みボタン56、新規書込みボタン57並びに注文情報CのメディアMへの書込みを中止するための中止ボタン58が表示される。なお、ドライブ選択フィールド55はプルダウンメニューとされている。ここで、ドライブ選択フィールド55において、新規のメディアMが挿入されているドライブを選択すると、データ表示フィールド54には何ら表示されないが、既に画像

データSおよび注文情報Cが記録されたメディアMが挿入されたドライブを選択すると、データ表示フィールド54にはそのメディアMに記録された注文情報Cにより表される注文内容が表示される。

【0049】

そして、新規書込みボタン57あるいは追加書込みボタン56をクリックすると、ステップS9が肯定されて画像データSおよび注文情報CがメディアMに書込まれる（ステップS10）。なお、画像データSおよび注文情報CがメディアMに記録されている場合に新規書込みボタン57をクリックすると、メディアMに記録されていた画像データSおよび注文情報Cは上書きされるが、追加書込みボタン56をクリックすると、注文情報Cおよび画像データSがメディアMに既に記録されている注文情報Cおよび画像データSに追記される。なお、注文情報Cには、画像データSのファイル名、プリントサイズ、プリント枚数およびユーザ1の情報（ユーザ名、住所、電話番号等）が含まれる。

【0050】

これにより、設定画面62において設定したプリント注文内容を確認するための確認画面が表示される（ステップS11）。図8は確認画面65を示す図である。図8に示すように、この確認画面65には、データ表示フィールド54、データ表示フィールド54において選択した画像データSのサムネイル画像を表示するサムネイル画像フィールド59、選択した画像データSを削除するための削除ボタン71、枚数を変更するための枚数変更フィールド72、枚数変更を確定するための変更ボタン73および注文を完了するための完了ボタン74が表示される。

【0051】

データ表示フィールド54には設定画面62において設定した注文内容が表示される。なお、画像データSおよび注文情報CがメディアMに記録されている場合に追加書込みボタン56をクリックすると、設定画面62において設定した注文内容が、メディアMに既に記録されている注文情報Cにより表される注文内容に追記される。

【0052】

ユーザ1が確認画面65のデータ表示フィールド54においてデータを選択すると、サムネイル画像フィールド59に選択した画像データSのサムネイル画像が表示される。そして、削除ボタン71をクリックすると、選択した画像データSが注文内容から削除される。また、枚数変更フィールド72において枚数を変更して変更ボタン73をクリックすると、選択した画像データSについてのプリント枚数に変更される。このような画像データSの削除あるいは枚数変更などの修正があった場合には、ステップS12が肯定され、修正された注文情報CがメディアMに書込まれる（ステップS13）。そして、完了ボタン74をクリックするとステップS14が肯定されて、処理を終了する。なお、ステップS12が否定された場合にはステップS14に進む。

【0053】

一方、ステップS7が否定された場合、すなわちインターネットで注文ボタン49がクリックされた場合、ユーザ端末10にインストールされているWebブラウザが起動されて、ユーザ端末10が注文受付サーバ21にアクセスされ、モニタ11にプリントを依頼可能な複数の写真店が表示される（ステップS15）。なお、ビューアソフトをインストールしたCD-Rに写真店の情報が記録されている場合には、その情報に基づく写真店が表示される。ユーザはプリントを依頼する写真店3を選択すると、ステップS16において注文内容の確認画面が表示され（確認画面65とは異なり、Webブラウザに表示される）。そして、Webブラウザに表示された完了ボタンをクリックするとステップS17が肯定されて、画像データSおよび注文情報Cがネットワーク4経由で受注センタ2の注文受付サーバ21に送信され（ステップS18）、処理を終了する。

【0054】

ここで、インターネットで注文を行う場合には、注文受付サーバ21が注文情報Cを受信した後、複数の写真店3に注文情報Cを送信し、プリントの価格および納期を取得し、取得した写真店毎の価格および納期の情報をユーザ端末10において表示して、ユーザ1に写真店3を選択させるようにしてもよい。これにより、ユーザ1はより価格の安い、あるいは納期の短い写真店3にプリント注文を依頼することができる。

【0055】

なお、ポストカードのプリント注文を行う場合には、図6に示す設定画面63において、所望とするサムネイル画像GTSをクリックして拡大表示フィールド51に合成画像を表示し、入力フィールド52においてははがきの種類および枚数を入力することにより、プリント注文を行うことができる。そして、設定画面63においてメディアで注文ボタン48をクリックすることにより、上記ステップS8～S14と同様にメディアMにプリント注文を行う合成画像データGおよび注文情報Cが記録される。一方、インターネットで注文ボタン49をクリックすることにより、上記ステップS15～18と同様に、合成画像データGおよび注文情報Cがネットワーク4経由で受注センタ2の注文受付サーバ21に送信される。なお、ポストカードの場合は、1つの合成画像が1つの注文単位となり、一度に複数のポストカードの注文を行うことはできないものである。

【0056】

注文受付サーバ21は注文情報Cおよび画像データSを受信すると、これを写真店3に転送する。写真店3においては、コントローラ32が注文情報Cを受信すると、注文の発生を受注シートとしてプリント出力し、その旨をオペレータに知らせる。オペレータは送信された注文情報Cに基づくプリントPの作成を行う。

【0057】

一方、メディアMに注文情報Cを記録した場合には、ユーザ1が直接写真店3にメディアMを持ち込んで注文を依頼する。

【0058】

写真店3においては、オペレータが注文情報Cおよび画像データSをデジタルミニラボ31に入力する。これにより、注文情報Cに基づいて画像データSがデジタルミニラボ31のプリンタ31Aからプリント出力されて、プリントPが作成される。この際、プリントPの裏面には受注IDの印字が行われ、注文情報Cを受信した順にソートされる。また、これとともに、注文情報Cに基づいてユーザ名、プリント内容、価格、受注ID等がコントローラ32において用紙KPにプリント出力される。そして、用紙KPをプリントPを入れるDP袋に貼り付け

、対応する受注IDが印字されたプリントPをDP袋に入れる。ユーザ1は、仕上がり日時に写真店3に来店し、料金の支払いと引き替えにプリントPを受け取ることができる。なお、プリントPを配送、郵送等してユーザ1に渡すようにしてもよい。

【0059】

一方、プリント注文がポストカードのプリントである場合には、デジタルミニラボ31においてポストカードのプリントが行われ、さらに必要な加工がなされてユーザ1に渡される。なお、ポストカードのプリントの場合、著作権を有するテンプレートが合成画像データGに使用されるため、プリントを行う合成画像データGに使用されているテンプレートについての課金を行う必要がある。したがって、コントローラは合成画像データGに使用されているテンプレートを認識し、これに基づいてユーザに課金を行う。

【0060】

なお、合成画像データGの作成に使用したテンプレートの情報をユーザ毎に蓄積することにより、ユーザ毎に使用するテンプレートの好みを把握することもできる。これにより、ユーザ毎に好適なテンプレートを提供することが可能となる。

【0061】

このように、本実施形態によれば、一覧表示画面60、61に表示される注文ボックスアイコン16にサムネイル画像TSまたはGTSをドラッグアンドドロップするのみで、プリントを行う画像データSまたは合成画像データGを注文ボックスフォルダ18に登録するようにしたため、プリント注文を行う画像の選択を容易に行うことができることとなる。また、注文ボックスアイコン16を開くことにより、設定画面62、63において、プリント注文を行う画像データSまたは合成画像データGのサムネイル画像TSまたはGTSを表示するようにしたため、ユーザ1は選択した画像がどのような態様でプリントされるかを容易に認識することができる。さらに、複数の画像についてのプリント注文を行う場合にも、画像の選択および注文を繰り返す必要がないため、プリントの注文を容易に行うことができる。

【0062】

なお、上記実施形態においては、1つの注文ボックスアイコン16のみを表示し、ここにドラッグアンドドロップされた画像を1つの注文ボックスフォルダ18に登録しているが、図9に示すように複数の注文ボックスアイコン16A、16B、16Cをモニタ11に表示し、これに対応させて複数の注文ボックスフォルダ18A、18B、18Cを作成してもよい。この場合、各注文ボックスアイコン16A、16B、16Cを例えば自分用1、自分用2、他人用のように分類しておくことにより、画像データの分類を容易に行うことができる。

【0063】

また、上記実施形態においては、ユーザ端末10のハードディスク13に注文ボックスアイコン16に対応する注文ボックスフォルダ18を作成しているが、図10に示すように、受注センタ2の注文受付サーバ21にハードディスク22を設け、このハードディスク22に注文ボックスフォルダ18を保管してもよい。また、複数の注文ボックスアイコンをモニタ11に表示し、これらに対応する複数の注文ボックスフォルダをハードディスク22に保管してもよい。

【0064】

なお、上記実施形態においては、画像データSあるいは合成画像データGのプリント注文を行うプリント注文システムに本発明を適用しているが、動画データや音声データをCD-RやDVD-R等の大容量メディアに書き込むサービスを提供する業者に対して、これらのデータの大容量メディアへの書き込みを依頼する場合にも本発明を適用することができる。この場合、書き込む動画データや音声データを注文ボックスアイコンにドラッグアンドドロップすることにより、データを登録することができる。そして、注文ボックスアイコンを開いたときに、動画データの場合にはあるシーンのクリップ画像を表示することにより、ユーザはどのような動画データが大容量メディアに書き込まれるかを容易に認識できる。一方、音声データの場合にはデータのファイル名を表示し、データが再現可能な音声のさわりの部分（イントロ等）をファイル名のクリックによって再生することにより、ユーザはどのような音声データが大容量メディアに書き込まれるかを容易に認識できる。この場合、CD-RやDVD-Rのメディアの盤面に記録す

る画像を選択可能なようにしてもよい。

【0065】

また、上記実施形態においては、受注センタ2の注文受付サーバ21において注文情報Cおよび画像データSを受信し、その後写真店に注文情報Cおよび画像データSを転送しているが、写真店3に注文受付サーバ21を設け、ユーザ端末10から直接写真店3に注文情報Cおよび画像データSを送信するようにしてもよい。

【0066】

さらに、上記実施形態においては、プリント注文等を行う場合に本発明を適用しているが、ユーザ1自身が有するプリンタにおいてプリントを行う場合にも、本発明を適用することができる。すなわち、注文ボックスアイコンに代えてプリントアイコンを表示し、ここに画像データSをドラッグアンドドロップすることによりプリントする画像データを登録し、登録後このプリントアイコンを開くことにより、登録された画像データSのサムネイル画像を表示する。これにより、ユーザ1は自らのプリンタにおいてプリントする画像を容易に認識することができる。

【0067】

なお、画像データ、動画データ等のマルチメディアデータのみならず、文書ファイル、htmlファイル、表データファイル等についても本発明を適用することができる。この場合、選択されたデータを上記プリントアイコンに登録し、プリントアイコンを開くことにより、各ファイルの印刷プレビュー画面を表示すればよい。これにより、ユーザは印刷するファイルの概要を容易に認識することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施形態によるデータ管理装置を適用したプリント注文システムの構成を示す概略ブロック図

【図2】

本実施形態の動作を示すフローチャート

【図 3】

一覧表示画面を示す図（通常プリント）

【図 4】

一覧表示画面を示す図（ポストカードプリント）

【図 5】

設定画面を示す図（通常プリント）

【図 6】

設定画面を示す図（ポストカードプリント）

【図 7】

ドライブ設定画面を示す図

【図 8】

確認画面を示す図

【図 9】

本発明の他の実施形態によるデータ管理装置を適用したプリント注文システムの構成を示す概略ブロック図

【図 10】

本発明のさらに他の実施形態によるデータ管理装置を適用したプリント注文システムの構成を示す概略ブロック図

【符号の説明】

1 ユーザ

2 受注センタ

3 写真店

4 ネットワーク

10 ユーザ端末

11 モニタ

12 入力手段

13, 22 ハードディスク

16, 16A, 16B, 16C 注文ボックスアイコン

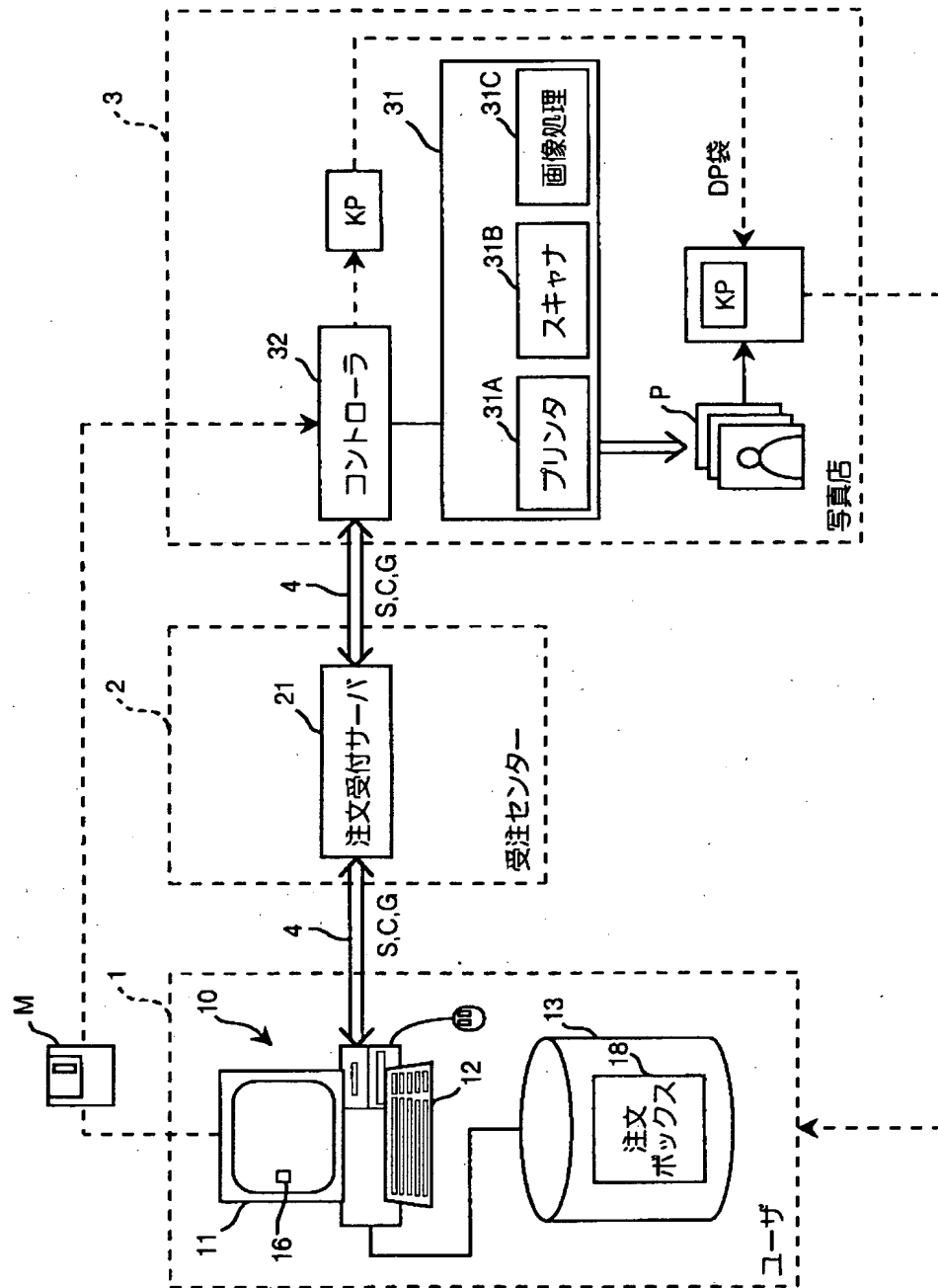
18, 18A, 18B, 18C 注文ボックスフォルダ

- 2 1 注文受付サーバ
- 3 1 デジタルミニラボ
- 3 2 コントローラ

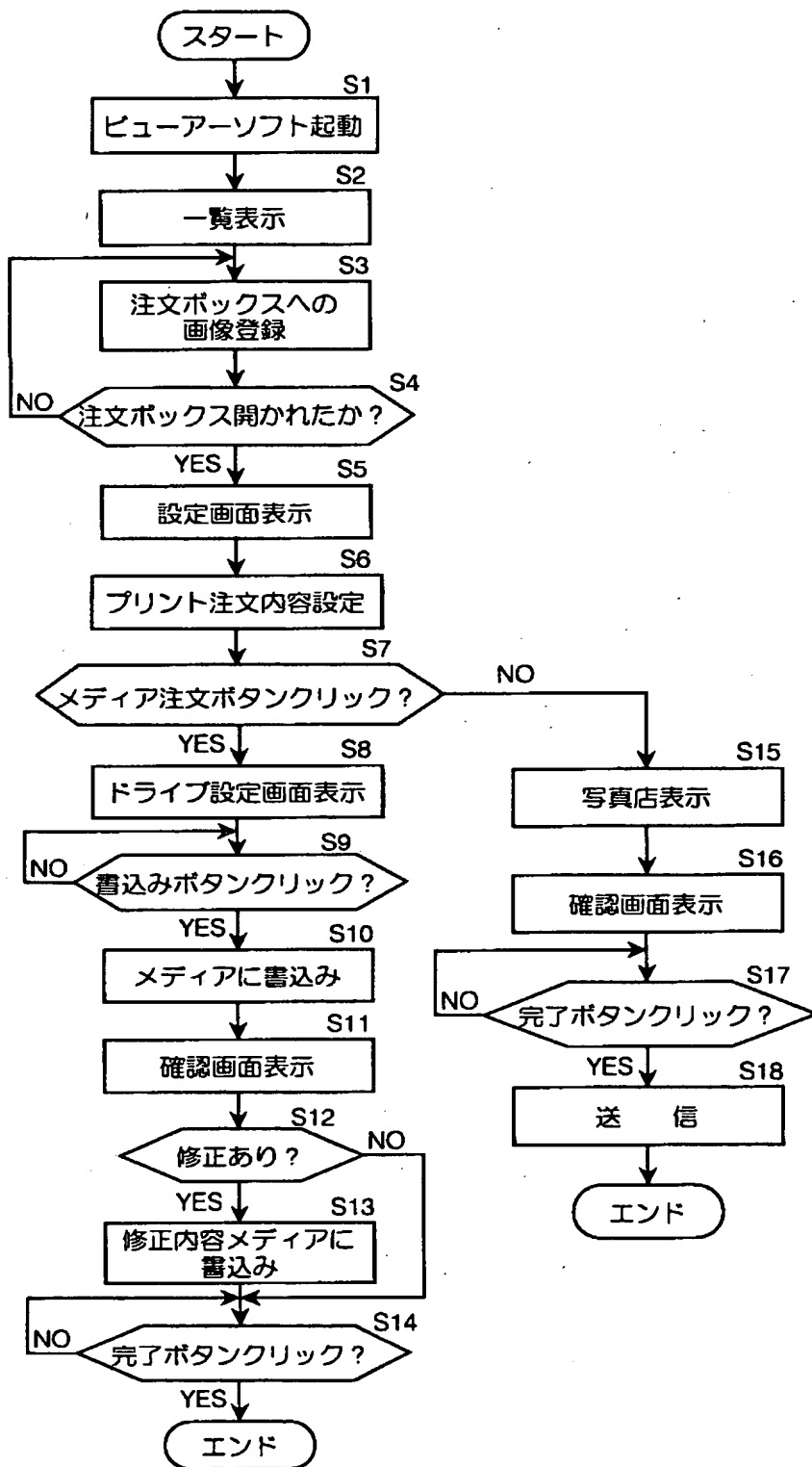
【書類名】

図面

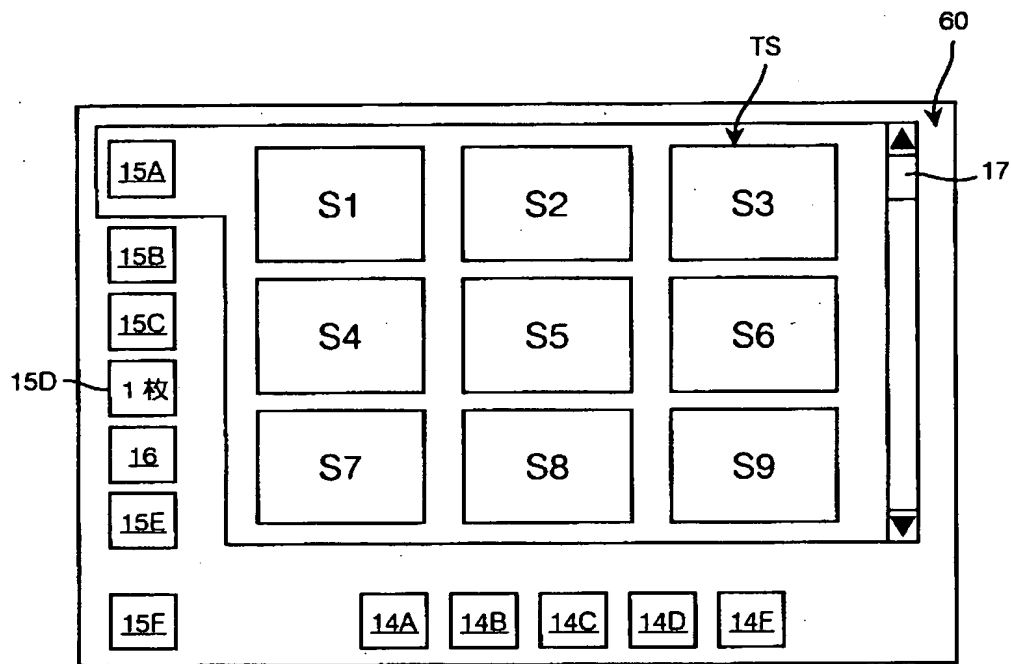
【図1】



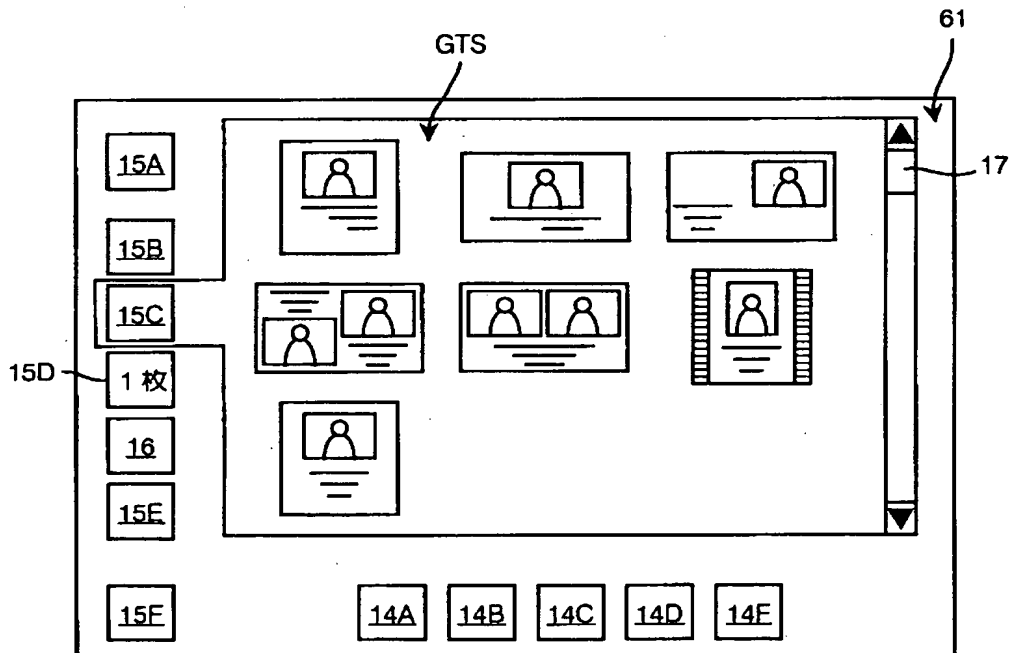
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図 5】

TS

41

通常プリント

42

43

62

ユーザ情報

お名前 :

住所 :

電話番号 :

FAX番号 :

電子メール :

43A

変更

48

メディアで注文

49

インターネットで注文

50

キャンセル

削除

44

書き込み容量 1800KB

45

通常プリント

ポストカード

46

47

S2

種類 L

枚数 1

S4

種類 L

枚数 1

S9

種類 L

枚数 1

注文枚数

L : 3 枚

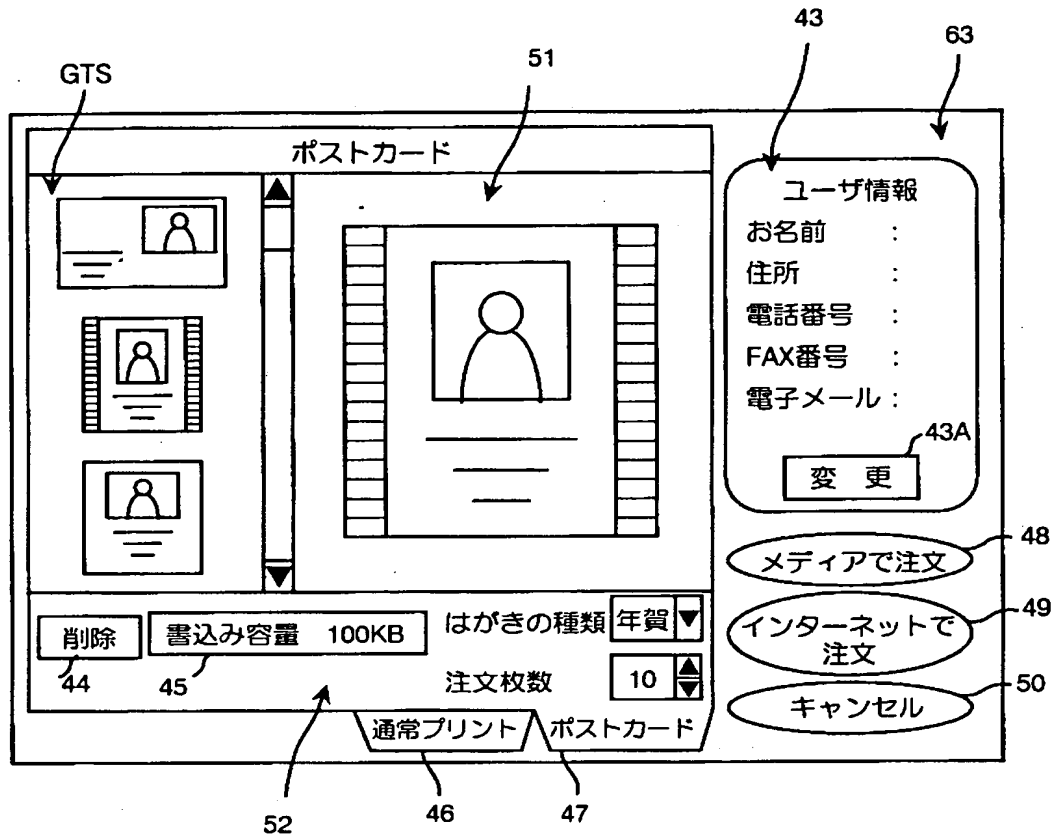
2L : 0 枚

HV : 0 枚

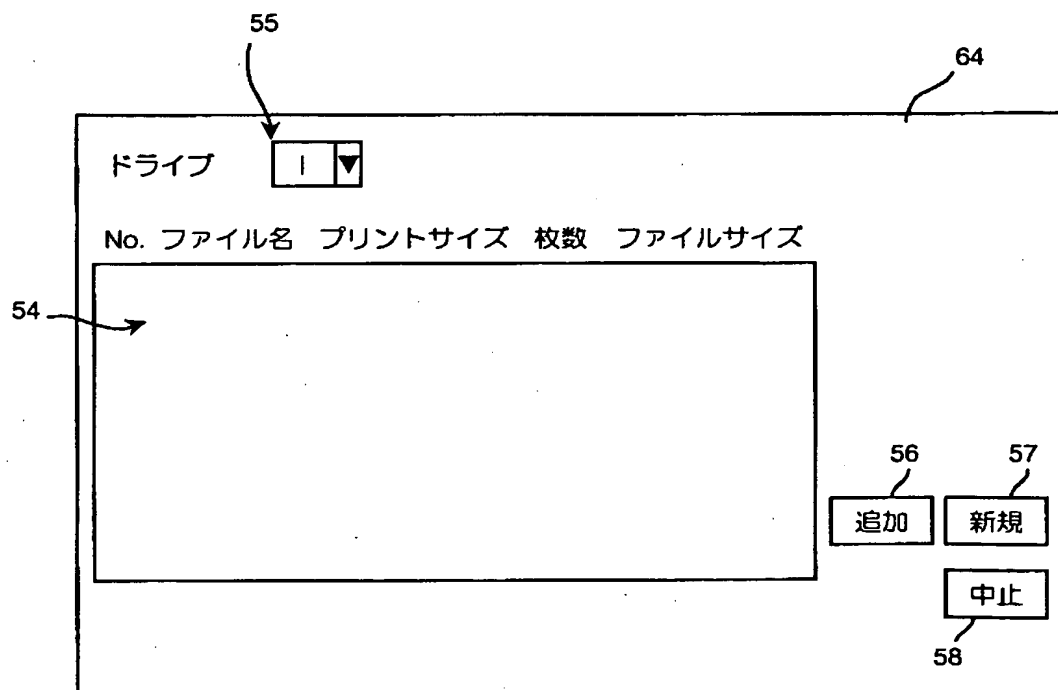
P : 0 枚

A4 : 0 枚

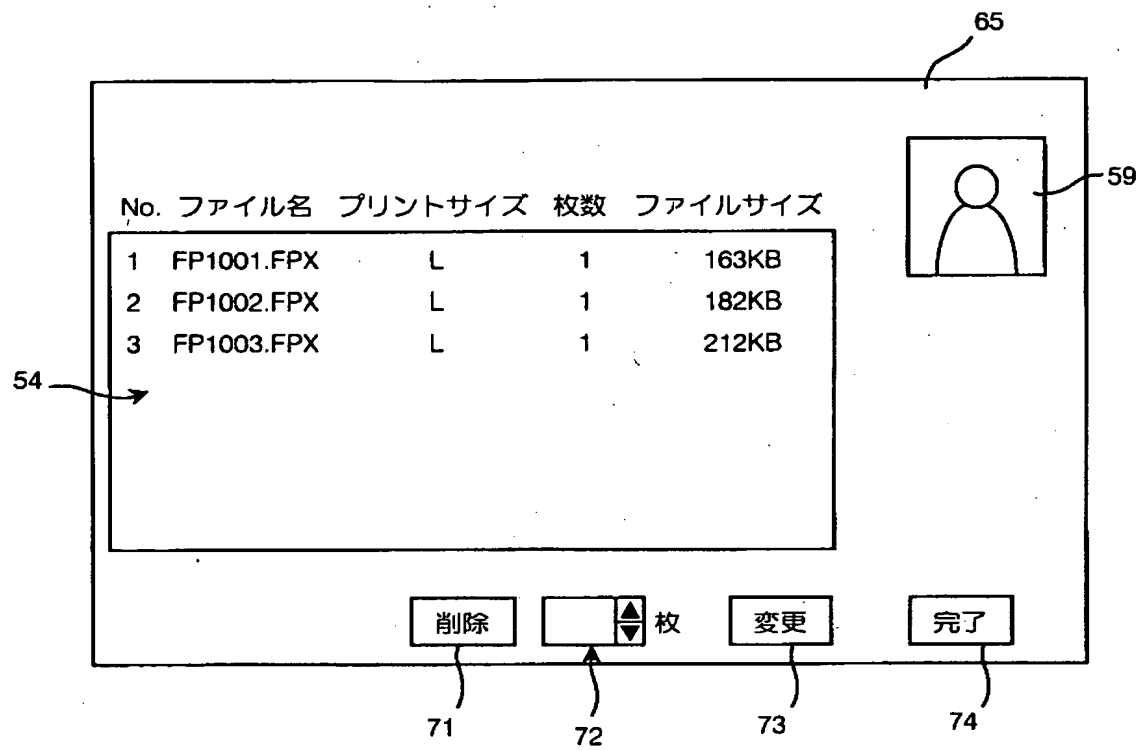
【図 6】



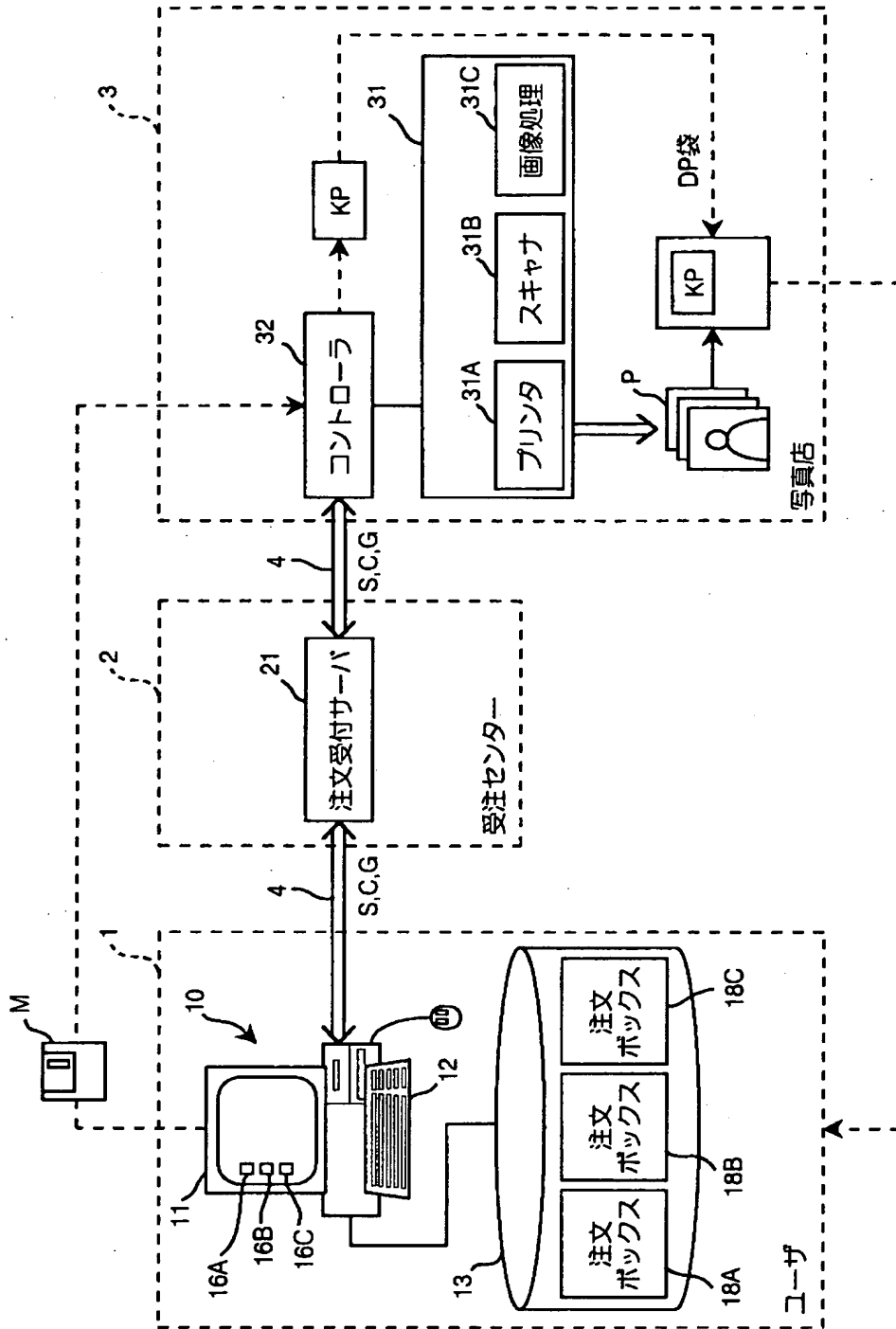
【図 7】



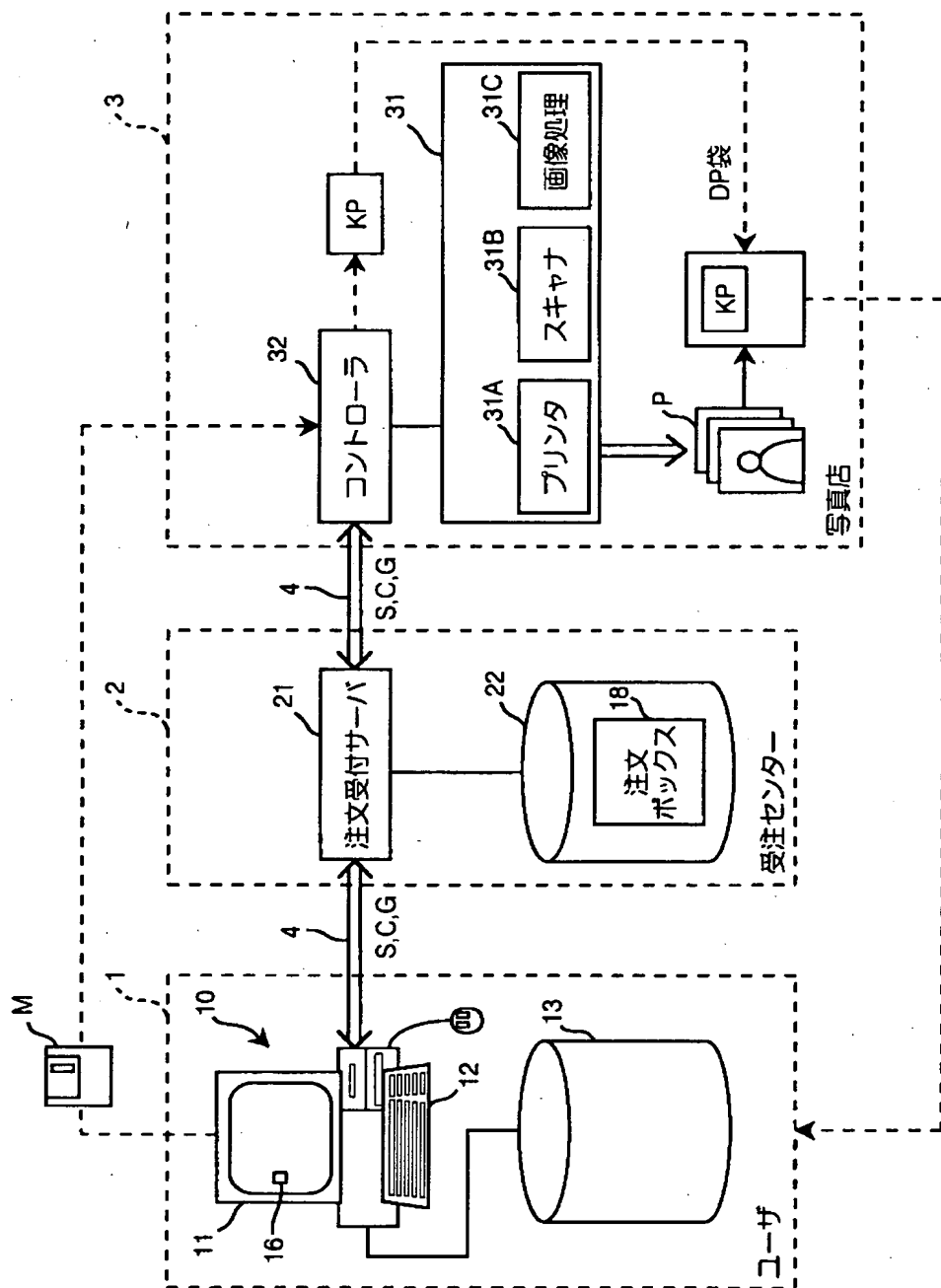
【図 8】



【図9】



【図1Q】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 画像データなどの管理を容易に行う。

【解決手段】 ユーザ端末10に注文ボックスアイコン16を表示し、ここに画像データSをドラッグアンドドロップすることにより、プリント注文を行う画像データSを登録する。注文ボックスアイコン16を開くと、登録された画像データSのサムネイル画像が表示され、ここでプリントサイズおよび枚数の入力を行い、注文情報Cを作成する。作成された注文情報Cは登録された画像データSとともに注文受付サーバ21に送信され、さらに写真店3に転送されて、プリント出力がなされる。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2001-057568
受付番号	50100294378
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成13年 3月 5日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成13年 3月 2日
【特許出願人】	
【識別番号】	000005201
【住所又は居所】	神奈川県南足柄市中沼210番地
【氏名又は名称】	富士写真フイルム株式会社
【代理人】	申請人
【識別番号】	100073184
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-20 B ENEX S-1 7階 柳田国際特許事務所
【氏名又は名称】	柳田 征史
【選任した代理人】	
【識別番号】	100090468
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-20 B ENEX S-1 7階 柳田国際特許事務所
【氏名又は名称】	佐久間 剛

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日	1990年 8月14日
[変更理由]	新規登録
住 所	神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名	富士写真フイルム株式会社